

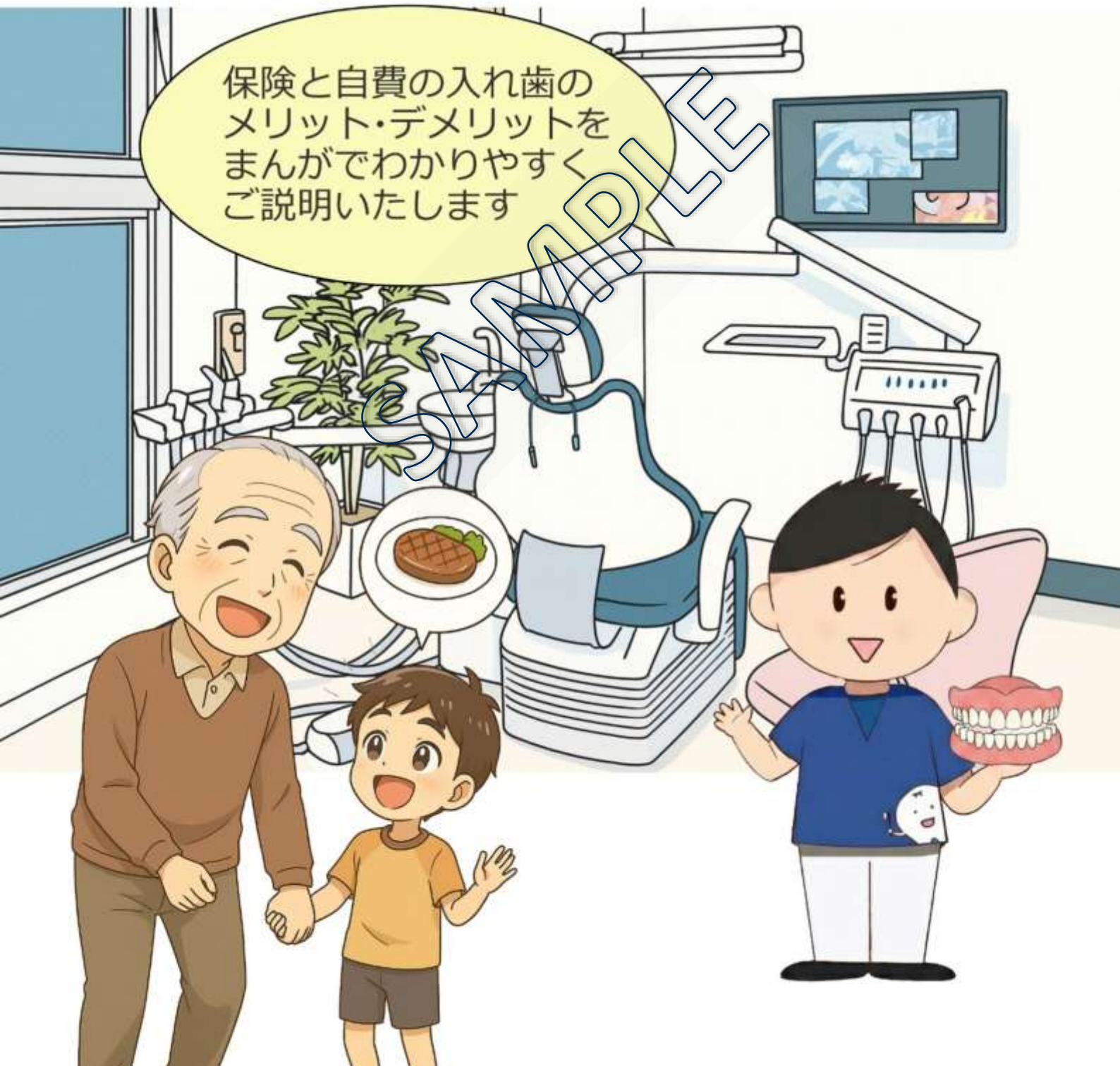


どう選べばいい？



# 保険の入れ歯 自費の入れ歯

保険と自費の入れ歯の  
メリット・デメリットを  
まんがでわかりやすく  
ご説明いたします



例)保険の入れ歯

例)自費の入れ歯



入れ歯にも  
保険で作るもの、  
保険外(自費)で  
作るものがあり  
ございます



皆様、こんにちは

当院は、  
入れ歯の作製を  
得意としていて  
クリニックです



痛くて噛めない  
味がわからない  
会話しづらい  
見た目が気になる

我慢して入れ歯を  
お使いの方が多い  
ので、

当院ではひとりでも  
多くの患者様を救いた  
いとの想いで入れ歯を  
お作りしております



入れ歯を作る  
最大の目的は  
「食べる・噛む」  
ことです



# 保険の入れ歯が合わない理由

## 問題点

保険適用で治療費は抑えられる



しかし素材や治療法も同じ



患者様に合わせた治療ができない

国民皆保険は日本どこでも同じ治療を受けられるが、優れた制度ですが…



悩みは別々でも  
治療法は限られる



これらの要因により結果的に「合わない入れ歯」になってしまうことがとても多いのです



- ・材質の問題
- ・限られた治療法
- ・治療に掛けられる時間的制約など

# 自費の入れ歯はどこが違う？①

## ご要望例①

- ・見た目の良いもの
- ・フィット感




## 部分入れ歯

入れ歯の素材も  
ひとつひとつも  
自費の入れ歯は  
患者様のご要望に  
応じた素材を使  
えます



### 自費の部分入れ歯 (ノンクラスプデンチャー)



- ・歯ぐきに馴染みやすく、引っかけ部分が樹脂製なので全く目立たない
- ・装着時の違和感も軽減

### 保険の部分入れ歯



- ・笑うと金属製のバネが見えてしまうことがある
- ・歯ぐきとの境目の色味が合わない
- ・装着時に違和感を感じる



これなら  
見た目も  
気にならない！

見た目重視なら、  
ノンクラスプデンチャーを  
お勧めいたします



# 自費の入れ歯はどこが違う？②

## ご要望例②

・樹脂製は噛むとたわんで痛いんです



## 部分入れ歯

自費の部分入れ歯には樹脂製のノンクラスプデンチャーと強度のある金属床がございます



底の部分に**薄い金属**を用いた部分入れ歯  
(部分金属床)



- ・見た目の良さにプラスして噛んだ時のたわみも軽減
- ・金属部分は表から見えない

樹脂製の**ノンクラスプデンチャー**



すべて樹脂で出来ているため審美性は優れているが、強く噛むとたわんでしまい痛みを感じる場合がある

これなら噛みくだかない！



より患者様に適した部分入れ歯をお作りできるのも自費のメリットです



# 自費の入れ歯はどこが違う？③

## ご要望例③

・保険の総入れ歯はご飯が美味しくなくて会話もしづらいんです



## 総入れ歯

総入れ歯の場合も  
保険と自費では  
大きな差があります



### 自費の総入れ歯

(金属床) 薄く伸ばした金属製

床の部分を強度がありつつ  
極限まで厚みを薄くした  
金属を使うため、熱(味)を  
感じやすく、会話もしやすい

### 保険の総入れ歯

この天井(床)の部分に  
かなり厚みがある

厚みのあるプラスチック製の  
ため、熱が伝わりにくく味を  
感じづらくなる  
会話に支障が出ることも多い



お味噌汁が温かい！  
会話もしやす  
くなりました！

総入れ歯についても  
精密な入れ歯を  
お作りできるのも  
自費のメリットです





歯とお口の事なら何でもご相談ください



デントスマイルシステムズ歯科

☎ 0561-42-5580



〒489-0975

愛知県瀬戸市山の田町62-8

<https://www.nyantal-dental.online/>

初診Web予約もこちらのQRコードからどうぞ